

第2学年 学級活動（2）指導案

題材 「食事マナーの達人になろう」 目指す子供像 考え伝える子 育成を目指す資質・能力「着地力」「協働する力」	日時 令和2年12月8日（火） 学年 第2学年 11名 庄原市立口南小学校 指導者 田丸 亜紀
--	--

児童について

本学級は、明るく元気な児童が多い。給食の時間には、楽しく友だちと話しながら食べている。毎日の給食（食事）が楽しい児童は100%である。しかし、食事についての課題は主に二つある。一つ目は、野菜や酢の物、わかめが苦手など偏食のある児童が見られること。二つ目は、話に夢中になって時間内に食べきれなかったり、姿勢が崩れて食べ物が下に落ちたりとマナーに課題が見られるということである。

そこで、11月上旬には、栄養教諭から、一つ目の課題である「偏食をせずバランスよく食べることの大切さ」について教わった。そこでは、それぞれの食べ物をバランスよく食べることの大切さについて考え、現在では、給食の時間や家庭で生かす様子が見られている。

本題材に関わる事前の保護者アンケート、児童アンケートを実施した。

結果として、保護者による評価と児童による評価では、大きく差がみられた。

このことから食事のマナーを身に付けることは、親の願いでもあるため、正しいマナーについて、学習をしていくことが必要である。

題材について

本題材は、自分の食生活を見直し、自ら改善して望ましい食習慣（マナー）の形成を図ることをねらいとしている。前回とは違った視点で、身近な「食」について振り返り、どのように改善していけばよいかを考えさせる機会としたい。また、本題材に関わって事前に行ったアンケート結果を提示し比較させることで、児童は、給食のみならず普段の自分の食事の姿を明らかにし、自分の課題を見いだすことができる考える。さらに、食事のマナーを改善することは、人間関係（友人・家族）を良好に保つことや健康な体を育てることにもつながると考える。

本時では、マナーの内容やその良さについても考えさせた後に、栄養教諭からマナーよく食べることの良さについて専門的な意見を聞くことで、さらに実践意欲を高めさせることができる考える。それをもとに、自己のめあてを決定させていきたい。また、自分たちが学んだ食事のマナーとその良さについて、第1学年の児童に伝えるというゴールを設定することで、必然性のある学習が展開できると考える。

指導について

指導にあたっては、次の点に留意する。

「つかむ」場面では、第1学年学級担任から届いた「2年生のみんなから正しい食事のマナーとその良さについて1年生に教えてほしい」という内容の手紙を読み、意欲を高めて学習に入れるようにする。その後、事前アンケートの結果を児童、保護者に分けて提示し、その結果のずれから学習への課題意識をもたせる。具体的には、保護者アンケートで上がった三つの課題について知らせる（①周りの人とふざけたり大声で話したりしない②苦手なものを残さない③がちゃがちゃ音を立てて食べない）。また、本時の学習ゴールとして、正しいマナーについて考え、目標を立てること、次の日から始まるマナーW

EEKで生かしていくことも伝える。このように、第1学年児童に教える前に、まずは自分たちが食事マナーの達人になる必要があるということをおさえる。

「さぐる」場面では、正しい食事マナーができるようになると、どんな良いことがあるのかを問い、食事マナーの意義について考えさせたい。このことで、児童の実践意欲も高まると考える。また、「見つける」で、栄養教諭の話を聞く前に、自分の考えをもたせることで、より主体的に話を聞けると考える。

「見つける」場面では、栄養教諭にその他の食事マナー（①姿勢を崩さず食べる②箸を正しく持つ③食べ物を口に入れたまま話さない）とその良さ（①健康な体②良好な人間関係）について話をしていた。事前に栄養教諭と提示する資料や内容を連携しておくことで、ねらいに迫れるようにする。その後、話を聞いて分かったことについて交流させる。このことで、児童に、自分自身を振り返らせ、目標設定の手立てとさせる。

「決める」場面では、考えを交流したり話を聞いたりする中で見いだした自分自身の課題をもとに目標を設定させる。その際、ワークシートに、正しい食事のマナー（姿勢）のイラストを載せておき、児童がイメージしながら自分の目標を決定できるようにする。その後、決めた目標を全体で交流し、実践意欲を高める。また児童が決めた目標は肯定的に評価し、実践意欲が高まるようにする。

このような指導を通して、ねらいに迫り、更に、育成を目指す資質・能力の育成を図っていききたい。また、事後の実践活動の中で、お互いの頑張りを肯定的に評価できるようなあたたかい風土も高めていきたい。

評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
本題材における評価規準	① 食事のマナーの大切さを理解し、目標を達成するために必要な知識や技能を身に付けている。	① 食事マナーの達人になるために自分の課題を見だし、自己目標を決定している。【着地力】 ② 自己目標達成に向けて実践している。	① 自分の食事のマナーについて振り返り、目標達成への見通しをもって、友だちと協働しながら行動しようとしている。【協働する力】

※着地力とは、話し合ったことをもとに「よりよい意思決定」「よりよい合意形成」をする力

指導計画

日時	学習活動	指導上の留意点	◎評価規準 【観点】〈評価方法〉
11月12日（木） 学級朝会	○ 食事アンケートに答える。		
12月8日（火） 【本時】	*「本時の展開」参照		◎ 食事マナーの達人になるために自分の課題を見だし、自己目標を決定している。【思①】〈発言・ワークシート〉

12月9日(水)～	○ 「マナーWEEK」を設定し、自己決定した目標に向かって取り組む。振り返りをカードに記入する。	○ 継続的に取り組めるよう、給食中のマナーについて振り返ってカードに記入させる。 ○ 指導者が肯定的評価をし、意欲的に活動させる。	◎ 食事のマナーの大切さを理解し、目標を達成するために必要な知識や技能を身に付けている。 【知①】〈行動観察〉 ◎ 自己目標達成に向けて実践している。【思②】〈行動観察・カード〉
12月中旬	○ 第1学年児童に食事のマナーについて伝える。	○ 学んだことを自信をもって発信できるよう、学習したことをわかりやすくまとめさせる。	◎ 自分の食事のマナーについて振り返り、目標達成への見通しをもって、友だちと協働しながら行動しようとしている。【態①】〈行動観察・カード〉

本時の展開

(1) ねらい

食事マナーの達人になるために自分の課題を見いだし、自己目標を決定することができる。【着地力】

(2) 展開

学習活動		指導上の留意点・支援	◎評価規準 【観点】〈評価方法〉
つかむ	1 第1学年学級担任からのお 願いのお手紙を読む。 ・ 食事のマナーで気をつけて いることはどんなことがあり ますか。 ・ お家の方のマナーアンケート の結果を見てみよう。 (食事のマナーが良いか、その 内容である三つの課題を提示)	・ 食事のマナーについて教えてほしい という内容の第1学年学級担任から 手紙を読むこと、保護者アンケート の結果から自分たちを振り返らせる ことで本題材への意欲をもたせる。	
	2 本題材の活動の見通しをも つ。	・ 本時の学習ゴールを確認し、今日 は栄養教諭にみんなが達人に近づけ るようにお手伝いをしていただくこ とを伝え、意欲をもたせる。	
食じマナーのたつ人になるための、自分の目ひょうをきめよう。			

さ ぐ る	3 マナー良く食べるとどんな良いことがあるかを考える。 ・ マナー良く食べるとどんな良さがあるのかな。	・ マナーの良さについてペアで考えさせることで、自分の考えをもたせる。	
見 つ け る	4 栄養教諭の話から、新しい情報を得ることで、なりたい自分のイメージをもつ。 ・ 話を聞いて、わかったことを言いましょう。	T2 栄養教諭 ・ 保護者アンケートから提示した三つのマナー以外を三つ伝え、その良さ（健康な体、人間関係）について知らせ、理解を深めさせたり意欲をもたせたりする。 ・ 栄養教諭の話の後、わかったことを交流させることで、目標決定のイメージをもたせる。	
決 め る	5 これから自分が頑張りたいことを決める。 6 決めたことを交流する。	・ この時間に考えた内容をもとに、自分の目標を決定させ、ワークシートに書かせる。 ・ 悩んでいる児童には、ワークシートのイラスト等見せながら自分の目標が決定できるようにする。 ・ 実践意欲が高まるように本時の学びの過程を肯定的に評価する。	◎ 食事マナーの達人になるために自分の課題に気づき、自己目標を決定している。【思①】〈発言・ワークシート〉

板書計画

「食じの達人」になろう

⑥ 食じマナーのたつ人になるために目ひょうをきめよう。

つかむ

アンケートの結果

児童と保護者アンケートの結果

頑張してほしいマナー三つ

食事中に気をつけていることは

児童の考え

さぐる

マナーを守ると
こないいいことが♡

児童の考え

見つける

マナーのイラスト

マナーを守ると
こないいいことも♡

マナーのイラスト

マナーのイラスト

健康な体

人間関係

きめる

自分の目ひょう

児童が発表した目標を書く。